

## やってみよう 衛星画像で断層を探そう

大規模な活断層は直線状のことが多いので、その活動でできた地形も直線状の境界を示すことが多い。そのような地形の境界に注目して、衛星画像から、断層を探してみよう。また、それが活断層であるかどうかを p.39 図 24 の活断層分布図等で確認してみよう。

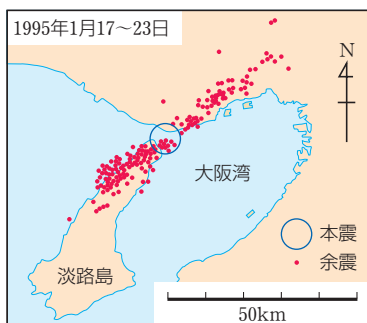


5

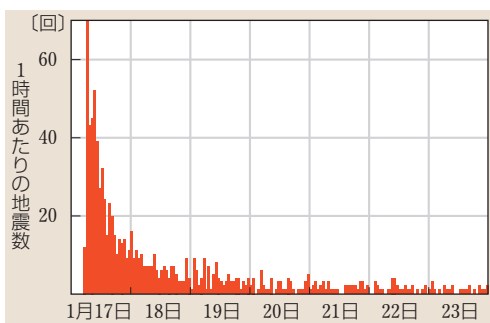
10

●余震● 大きな地震(本震)の後に引き続いて起こる多くの地震を余震といい、余震の起こった地域を余震域という。余震は震源断層面付近で発生するものが多いので、余震の震源分布から震源断層の範囲を知ることができる。余震は1日に数百回も記録されることもあるが、その数は本震発生後の時間の経過とともに急速に減っていく。

15



▲図 25 兵庫県南部地震の余震分布



▲図 26 兵庫県南部地震の余震の回数

## C マグニチュードと震度

地震の程度を表す尺度にマグニチュードと震度がある。震度がそれぞれの地点での地震動の強さを表すのに対して、マグニチュード( $M$ )は地震の規模(エネルギー)の大小を表す。

20